

## 令和5年度 第4回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月16日（金） 13:30 から 15:30
- 2 開催場所 北浜中学校 会議室
- 3 出席委員 古川員巳、大村 仁、藤本正俊、大岡成光  
齋藤千朝、波多信広、岡村洋子
- 4 欠席委員 柴田義久
- 5 オブザーバー 鈴木雄介（北浜南部協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 岡村洋子
- 7 学 校 岡田芳樹（校長）、松島 賢（教頭）、鈴木 亮（主幹教諭）  
鈴木敬子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 1人
- 9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木敬子
- 10 議長の選出  
司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、大村委員が推薦され、全員異議なくこれを承認した。
- 11 熟 議
  - (1) 学校関係者評価について
    - ・ 2学期の学校評価について
  - (2) 来年度の学校運営協議会の基本方針について
    - ・ グランドデザイン
    - ・ 学校経営構想
    - ・ 年間計画
  - (3) 学校運営協議会の自己評価について
- 12 会議記録  
熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶を行った。
  - (1) 学校関係者評価について（鈴木亮）

対生徒アンケートは4段階だが、全体的に2学期の方が評価が上がっている。学年が上がると肯定的になっている。

対保護者アンケートでは、いくつかの項目で評価が下がっている。学習と情報モラルについて心配している。授業の中でタブレットを使うことが多くなっているが、教師の目をくぐってゲームをする生徒もある。情報モラルについて意識を変えていく必要がある。

対教員アンケートでは、宿題の与え方や情報発信について十分ではない

と感じている教員がみられる。

・学習に関しては保護者から宿題を出してほしい要望もあるが、宿題をやれば学習をしたことになるのか？感覚を変えていきたい。

また、本校のブログはほぼ毎日更新されており、一日の更新が複数回になることもある。職員が日々確認するようにしたい。（校長）

・立志式の様子を見たとき、目標のある人は宿題があってもなくても努力する。大事なのは宿題をやるより、なるべく早く人生の目標を掲げることだと思う。（大岡委員）

・宿題や塾など与えられたものをして十分と思っている子は自分から学ばない。高校や大学に行っても人生の目標が見つからない子が多い。でも、無いなら無いなりに自分を認めて目の前のことを頑張れるようになってほしい。（齋藤委員）

・調査項目はどう決めているか。（古川委員）

→年毎の経過を見たいので昨年とほぼ同じ。（鈴木亮）

・中学生は自己肯定感を持つことが大切。宿題をやっていれば良いと感じる親もいるが、子どもが育っていくために何が必要か練り直したい。連携も大事、（要するに）意識を高めていくことが重要。（古川委員）

・アンケートが学校独自のものであれば変えていくことも必要。対教員アンケートで読み取るのが難しいものもある。（波多委員）

・体育科で宿題は難しい等。アンケートの回答がどれくらいか。（藤本委員）

→生徒も保護者も9割くらいはある。（鈴木亮）

→保護者のアンケートの提出率も高い。（教頭）

・教員は全員か。（大岡委員）

→内容的に答えられない職種の職員は除いて、全員。（鈴木亮）

・タブレット学習はセキュリティ面が難しいのではないか。

→校務に使うパソコンと学習に使うタブレットは分けている。（校長）

・情報の共有ができないのではないか。（古川委員）

→校務のパソコンにつながらないので、特にデータで管理している教員は困っている。（校長）

・紙とデータの使い方を考えたい。（大村委員）

・アンケートの内容で、「凡事徹底」つまり「当たり前のこと」基本的なことについて問うのはどうか。例えば、「挨拶ができていないか」等。アンケートの良さを生かせる問いにしたい。

宿題についても「自主自立」を考えたい。自主的な態度を育てたいが、

保護者の価値観との相違が問題である。(古川委員)

(2) 来年度の学校運営協議会の基本方針について

・視点を改めて学校経営構想を考えている。多様な人の協力で魅力ある学校を目指したい。『かかわる』がキーワード

放課後の活動についても、令和8年度の9月からは市として土日の部活動の取組に変化がある。部活動について旧浜北区5中学校は部活動時間を合わせるよう話し合っている。地域の人たちの得意分野を生かす形で、子供たちの放課後の充実が計られるのが良いのだが、まだまだ課題が多い。学校では、放課後の学習補助も考えたい。

前期、後期の2期制にすること、3年間を見通した学び、地域等外部の人と関わること等を充実させたい。(校長)

学校運営協議会の開催日について行事のある日に行えば、子供たちの様子も見てもらえると思うがどうか。(校長)

・委員がいつでも自由に入出りできると日頃の様子も知ることができて良いのではないか。(古川委員)

→委員は保護者も多いので行事と協議会を併せたい。(校長)

・イベントに併せての開催が良い。(藤本委員)

・いろいろな場面を見て委員として何ができるかを考えていきたい。来年度からさくら連絡網が委員にも配信されるのは効果的である。

(波多委員)

・2期制のメリット、デメリットは？(波多委員)

→始業式、終業式の回数減と成績付けの時間カットが減ることにより授業時数にゆとりができる。成績付けには夏休みの時間が使える。面談時間がとれる。時間にゆとりができることにより、生徒と向き合う時間も増える。(ただし、3年生はこれまで通り成績を同じ時期につける)

・ある程度強制力がないと勉強しないのではないか。部活動や学習時間に不安がある。(藤本委員)

→テスト期間を設けず単元テスト(テストまたはレポート)で見ていきたい。授業をしっかりとっていくことが大事。(校長)

・学習面はどのように考えているか。(齋藤委員)

→学習面での支援をしていきたいと考えている。放課後は部活に行きたい子、学習したい子、習い事等に行く子もいる。不登校の子の学習も。(校長)

・早く帰って何もしない子がでないか心配。(古川委員)

→教員も部活だけの時代ではない。教員の各家庭の事情もある。(校長)

・部活動の転換期だが、受け皿の機能が整わない。(古川委員)

→企業の受け皿があると良いが。(校長)

- ・うまい具合に地域分散型になっていくのが良いと思う。(古川委員)
- ・中学生のスポーツを育てるクラブチーム等。(波多委員)
- ・趣味特技を生かしクラブの指導をする形がよい。(校長)
- ・クラブチームは送迎の問題も出てくる。(齋藤委員)
- ・土日の指導は受け皿が問題になる。(古川委員)
- ・サッカーは既にクラブチームがあるし、野球は指導したいという人も多いと思う。(波多委員)
- ・指導に熱くなりすぎることもある。(古川委員)
- ・学校を卒業してもスポーツを続けたい。(藤本委員)
- ・生涯スポーツのイメージ。(校長)
- ・高校の部活動も変わってきている。(大岡委員)
- ・頭の良さや運動能力の関連もある。(波多委員)
- ・高校の部活は、自主練を含めると夜遅くまでやっている。(齋藤委員)
- ・プロを希望する者、生涯スポーツにと考える者とがありクラブチームか地域スポーツ団体に所属するようになるのか。(大村委員)
- ・生涯スポーツと競技スポーツの区分が必要。(校長)
- ・勝とうとする気力も大事。(波多委員)
- ・未来授業、職場体験が良い。(大岡委員)
- ・良い講師を呼んで講演はどうか。(古川委員)

→子供たちが夢を持てる話が聞けるとよい。スキー教室はお金がかかるので検討中。(校長)

- ・子供たちはスキー教室がとても楽しかったと言っている。費用対効果がどうか。(藤本委員)
- ・雪が珍しくない地域の子と違い雪に触ったことのない子もいる。「SDGS」についても考える必要性。(大村委員)

→子供たちが、どこまで環境について考えているか知ることが大事。実体験。近隣の高校とタイアップして出来ることはないか。(校長)

- ・職場体験先の企業については、SCメンバーを頼ってほしい。多方面のつながりでたくさんの企業に参加してもらえと思う。(波多委員)
- ・例えばJAXAの杉田さん(地元出身)は講師としてよいと思う。(藤本委員)

→候補者としてある。(教頭)

→月一ぐらいでいろいろな講師を呼びたいが。(校長)

- ・ユーチューバーとして有名なYUYAもどうか。(波多委員)

→講演料が高額な人もいる。(大村委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価について

→先にいただいている内容についてまとめて報告します。(教頭)

・令和6年度のグランドデザインについて、本日承認を行えば第1回の運営協議会の開催を急がなくてよいのではないか。(波多委員)

→皆さんの賛同が得ることが出来ればここで承認してほしい。

・決を採りグランドデザインについて参加者の承認が得られた。ただし、スキー教室については引き続き検討を行うこととした。

1.3 その他

(1) いじめ防止等のための基本的な方針について

・2期制実施に伴い「北浜中いじめ防止対策基本方針」を改訂中

オブザーバーの感想

1年間勉強させていただきました。協議会を行事の後で行うのは生徒の様子を知る上でもよいと思う。

・今後の予定

令和6年4月18日(木)第1回13:30から